

ユネスコ無形文化遺産 登録に向けて (最終回)

「山・鉾・屋台行事」 提案内容と今後の展望

最終回となる9月号では、秩父祭を含む「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録への提案内容と今後の展望について解説します。

●提案要旨

平成27年3月に文化庁が発表した「山・鉾・屋台行事」33件のユネスコ無形文化遺産への提案要旨には、行事の特徴が次の4つにまとめられています。

①「山・鉾・屋台行事」は、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う、各地域の文化の粋をこらした華やかな飾りつけを特徴とする「山・鉾・屋台」の巡行を中心とした祭礼行事である。

②祭に迎える神霊の依り代であり、迎えた神をにぎやかし慰撫する造形物である「山・鉾・屋台」は、木工・金工・漆・染織といった伝統的な工芸技術により何世紀にもわたり維持され、地域の自然環境を損なわない材料の利用等の工夫や努力によって持続可能な方法で幾世にもわたり継承されてきた。

③「山・鉾・屋台」の巡行のほか、祭礼にあたり披露される芸能や口承に向けて、地域の人々は年間を通じて準備や練習に取り組んでおり、「山・鉾・屋台行事」は、各地域において世代を超えた多くの人々の間の対話と交流を促進し、コミュニティを結びつける重要な役割を果たしている。

④「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産代表一覧表への記載は、コミュニティが参画した持続可能な方法での無形文化遺産の保護・継承の事例として、国際社会における無形文化遺産の保護の取組みに大きく貢献するものである。

●「山・鉾・屋台行事」の保護団体

ユネスコ事務局へ提案した33件の行事を担う団体は、全国山・鉾・屋台保存連合会に加盟しています。当連合会は、文化庁の指導のもと、国の重要有形・無形民俗文化財の指定を受けた山・鉾・屋台とその行事に関する保護団体を中心に、山・鉾・屋台の保護思想の普及・啓発に関する調査研究、祭屋台等の製作・修理技術の練磨と後継者の育成を図るため、昭和54年に発足しました。

現在、会員は北の青森県八戸市から南の熊本県八代市までの正会員34団体（1団体は、ユネスコへの提案後に国の指定を受ける）、準会員1団体（都道府県指定）、府・県や市の自治体の特別会員36団体、

山・鉾・屋台の保存修理を行う保存技術会員151人で構成されています。

加盟団体では、祭礼行事の保存、工芸技術の保存、芸能の継承、コミュニティの強化を行っており、まさに文化庁の提案を實踐している団体の集合体となっています。

平成6年から今日まで秩父市教育委員会文化財保護課で事務局を担当しています。

●「無形文化遺産の保護に関する条約」第一条 条約の目的

世界各地で、伝統的な生活形態や価値観の変化に伴い無形文化遺産が急速に失われつつあり、国際的な取り組みが必要ことから、無形文化遺産を保護する条約が採

択されました。その目的は、
(a)無形文化遺産を保護すること。
(b)関係のある社会、集団及び個人の無形文化遺産を尊重することを確保すること。

(c)無形文化遺産の重要性及び無形文化遺産を相互に評価することを確保することの重要性に関する意識を地域的、国内的及び国際的に高めること。等が規定されています。

日本国内の文化財は文化財保護法で守られるほか、無形の文化財は世界的視野に立つて守られることとなります。登録が実現すれば、全世界に発信され、多くの観光客で賑わい、祭りを行う人たちに、かつとも励みになると思います。

文化財保護課 ☎22-2481

「秩父祭の屋台行事と神楽」登録に向けた歩み

年・月	できごと
平成20年5月	重要無形民俗文化財「秩父祭の屋台行事と神楽」(以下秩父祭)が日本の第2回提案候補となる。(日本の提案13件)
平成20年10月～平成21年6月	「秩父祭」の映像資料を作成する。
平成21年8月	日本から秩父祭を含めた13件の映像資料等がユネスコ事務局へ提出される。
平成22年5月	ユネスコ事務局の事務処理能力を理由に147件の内93件(日本は13件の内、秩父祭を含めた11件)の事前審査が先送りとなる。
平成22年11月	政府間委員会(ケニア)で、日本では事前審査がされた「組踊」・「結城紬」の2件の登録が決定したが、秩父祭を含む11件の登録が見合わされた。
平成23年10月	政府間委員会(インドネシア)において「秩父祭」・「高山祭の屋台行事」が情報照会の決議を受ける。
平成26年3月	既に登録されている「京都祇園祭の山鉾行事」・「日立風流物」を拡張し、重要無形民俗文化財の「山・鉾・屋台行事」としてグループ化(32件)してユネスコ事務局に提案書を提出する。
平成26年6月	平成27年のユネスコの審査件数50件を超える61件の申請があり、登録件数の多い日本(世界2位)の「山・鉾・屋台行事」の審査が1年先送りとなる。
平成27年3月	ユネスコ事務局へ「山・鉾・屋台行事」の提案書を再提出する。平成26年提案の32件に、新たに指定となった大垣祭を加え33件で提出する。
平成28年10月	ユネスコ評価機関による事前審査の勧告(予定)
平成28年11月28日～12月2日	政府間委員会(エチオピア)において審議…正式決定(予定)